

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

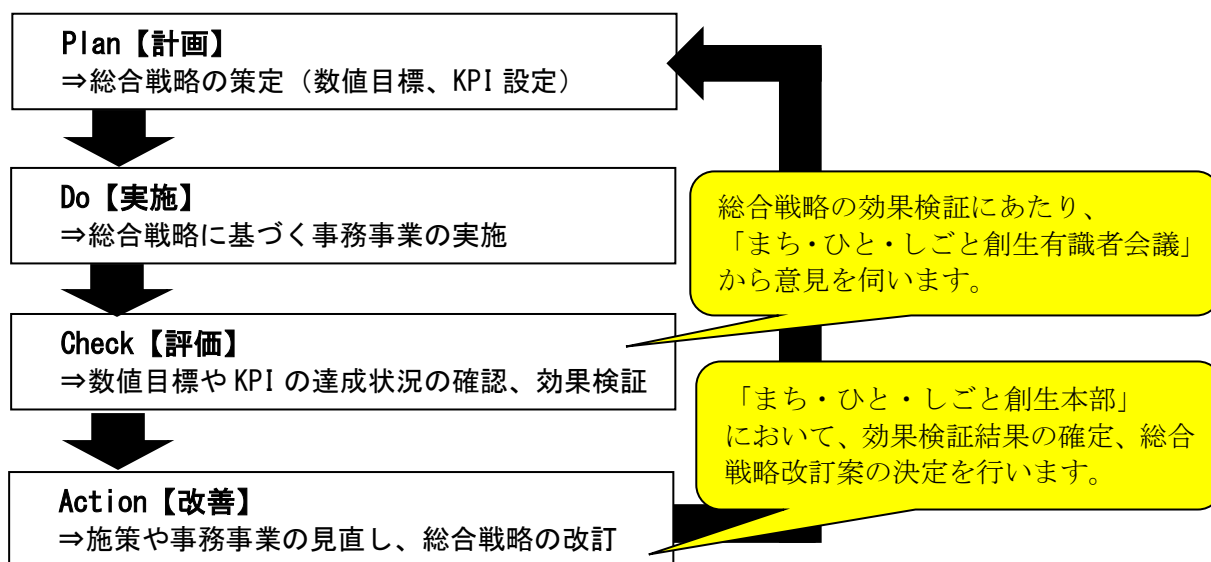
1 総合戦略の効果検証について

地方創生の推進にあたり、効果的な PDCA サイクルの構築が必要となります。

PDCA サイクルの構築には、行政活動そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として住民にもたらされた便益（アウトカム）に関する数値目標を定め、目標の達成度合いを検証できるよう、客観的な指標を定める必要があります。

諏訪市では、諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、4 つの柱に「数値目標」、具体的な施策に「重要業績評価指標（KPI）」を設定しています。

また、諏訪市では、諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議を外部検証機関として位置付け、地方創生交付金事業、諏訪市版総合戦略の効果検証にあたり、意見等をいただくこととしています。



地方版総合戦略策定のための手引き（平成 27 年 1 月 内閣府地方創生推進室）【抜粋】

7-1 PDCA サイクル

まち・ひと・しごと創生を実現するためには、従来の政策の反省の上に立ち、PDCA サイクルを確立することが必要です。具体的には、まず、効果的な総合戦略を策定し、着実に実施していくとともに、4（数値目標・重要業績評価指標（KPI））で設定した数値目標等を基本に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂するという一連のプロセスを実行していくことになります。

7-2 外部有識者の参画

総合戦略の効果検証に際しては、その妥当性・客観性を担保するため、行政の中だけで行うのではなく、2-1（住民・産官学金労言の参画と推進組織）などを活用して、外部有識者等の参画を得ることが重要です。

2 効果検証の方法

総合戦略の効果検証は、次の流れで行います。



【参考】諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略「効果検証シート」作成について

【効果検証シート①】

- ・「効果検証シート①」は、総合戦略の4つの柱に対する効果検証です。数値目標の検証結果や各担当課が作成する「効果検証シート②」に基づき、企画政策課が作成しています。

◎基本目標

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

基本目標

諏訪市の地域資源や技術を活かすとともに、新たな人材の誘致、素材の発掘により、魅力的な「しごと」をつくり、安定した豊かな生活を営むことができる「まち」を目指します。

①「基本目標」

- ・総合戦略における「4つの柱」の基本目標を示しています。

◎数値目標の進捗状況

数値目標	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
市内事業所従業者数 (経済センサス) 【備考】 人口減少による影響を抑制し、 現状を上回る数値を目標に設定	目標値		28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人
	実績値	27,528人	※H26年 27,010人	26,809人	-	-	-		
	達成度		努力が必要	努力が必要	実績値なし	実績値なし	実績値なし		

①「数値目標」

- ・総合戦略における「4つの柱」において定めた数値目標を示しています。

②「目標値」

- ・総合戦略における「4つの柱」において定めた目標値を示しています。
- ・平成27～令和2年度については、数値目標の性質に応じた目標値です。

③「実績値」

- ・各年度末（年末）時点における実績値を示しています。

④「達成度」

- ・「目標値」に対して「実績値」がどのくらいまで達成できているのか、以下を目安として達成度を示しています。

○順調：目標値以上

○概ね順調：80%以上 100%未満

○努力が必要：80%未満

○実績値なし：当該年度の実績値なし

◎総合分析

①「数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響」

②「基本目標の達成に寄与した取組成果」

③「今後の方向性」

- ・基本目標における数値目標の進捗状況、各施策の KPI の進捗状況や主な成果により、企画政策課において取りまとめたものです。

※各担当課が作成する「効果検証シート②」がベースとなっています。

【効果検証シート②】

- ・「効果検証シート②」は、総合戦略における具体的な施策に対する効果検証です。

◎KPI の進捗状況

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
製造業の従業員数 (従業員4人以上の事業所) 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人
	実績値	4,428人	-	4,609人	4,888人	4,999人	5,190人		
	達成度		実績値なし	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響								
	達成状況の分析								
	今後の取組								

①「KPI」

- ・総合戦略において定めた KPI（重要業績評価指標）を示しています。

②「目標値」

- ・総合戦略において定めた目標値を示しています。
- ・令和3年度（年）の目標値は、総合戦略に掲載された数値です。
- ・平成27～令和2年度については、KPIの性質に応じた目標値を示しています。

③「実績値」

- ・各年度末（年末）時点における実績値を示しています。
- ・多くの項目で新型コロナウイルス感染症の影響があるかと思いますが、実際の数値を記載しています。

※国の統計調査結果によるなど、毎年度の把握が困難な場合は「－」と記載。

※数値ではない場合、「実施」や「検討」、「未着手」など、進捗状況を記載。

④「達成度」

- ・「目標値」に対して「実績値」がどのくらいまで達成できているのか、以下を目安として達成度を示しています。

- | | |
|--------------|--------------------|
| ○順調：目標値以上 | ○概ね順調：80%以上 100%未満 |
| ○努力が必要：80%未満 | ○実績値なし：当該年度の実績値なし |

- ・達成度については、基本的に KPI の達成状況を目安として判断することになりますが、KPI 達成に向けた施策や事業の取組状況や経過などを踏まえて、KPI だけでなく総合的な視野に立って効果検証をしていただいています。

⑤「感染症の影響」

- ・KPI の目標値達成に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響があった場合、どのような事象でどのような影響があったのかについて記載しています。

⑥「達成状況の分析」

- ・KPI の達成状況を検証するにあたり、実績値が増加（減少）した理由、達成度の判断理由などについて記載します。社会情勢や市民ニーズに対応できているかどうかなど、客観的な視点も含めた分析をしています。

⑦「今後の取組」

- ・KPI の目標値達成に向けて、今後どのような取組を進めるのかについて記載しています。

◎主な成果

主な取組・担当課	内容・実績(令和3年度)	課題と対応(令和4年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
工場・事務所等の立地促進 商工課		

①「主な取組」

- ・総合戦略の「具体的な施策」における「主な取組」について、具体的な成果を上げることができた項目や、今後取組を拡充していく項目、今後の検討課題としている項目などをピックアップして記載しています。
- ・総合戦略の「具体的な施策」における「主な取組」をベースとしています。
- ・諏訪市として、総合戦略に基づく政策・施策の成果を示すポイントとなります。

②「担当課」

- ・「主な取組」の担当課を記載しています。

③「内容・実績（令和3年度）」

- ・「主な取組」について、令和3年度において、どのような取組を進めてきたのか、具体的かつ簡潔に記載をしています。また、数値として示すことができるものや、成果として具体的に示すことができるものについては、【実績】として記載しています。
- ・感染症の影響については、下線が付いています。

④「課題と対応（令和4年度以降）」

- ・「主な取組」について、今後の検討課題や令和4年度以降に予定している新たな対応を具体的かつ簡潔に記載をしています。
- ・感染症に起因する課題等について、下線が付いています。